

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館 ☎ 364-8442

地震災害の水に思う

大代東区長 佐藤 捷逸

一部の代地区のライフラインは全て貞山運河を渡らなければならぬ。これが一部代地区の特性です。水に囲まれていながら水に困ることを想定してみました。阪神淡路大震災のとき自治体からライフラインの支援を受けるまで四十八時間かかったといわれます。学者は自治体からの支援を受けるのは三日かかるかといっています。復旧するのは九日かかるか想定されます。

阪神災害と同じ条件に考えるのはナシセンスかもしれない。しかし、水がないと生活できないのは同じである。私たちは水の支援を受けるまでの二日あるいは三日間どうするかである。

そこで私たちは考えなければならぬことは、私たち自身で給水することに帰依する。

米沢藩主上杉鷹山から言わせれば水くらはい。くみおけ・と怒鳴られそうである。鷹山は最初から水道などござらん。ないと思えば不自由などござらん。

今、二十リットルの水をポリ容器に汲み置きすると二・三日ぐらいは充分二・三人の家族で生活できます。どうでしょうか？こんな発想で地震災害に備えては。

あいさつは心のふれあい 出会った人と あいさつしましょう

ご祝儀 お見舞いは 三千円を限度にし お返し物はしなないようにお互い気を配りましょう

災害のときの

飲料水として

初期消火として

平常時は

花壇の水として

風呂の水として

洗濯用水として

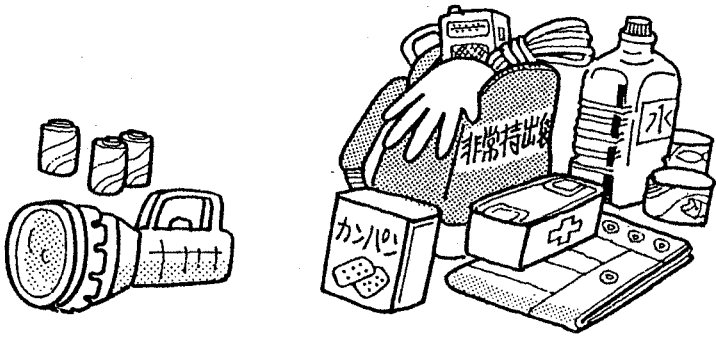
汲み替えながら災害に備えることができます。

上杉鷹山は窮乏に喘ぐ民を励ますとき、あると思うから愚痴がでる、ないと思えば不自由なぞござらん、と言ったそうです。

そういえば、私たちの地区に防災用具などないですね。

※なさねば成らぬ・・・何事も鷹山は・・・こう申しております。

地震のそなえ



総会終る

大代婦人防火クラブ

会長 後藤 重子

去る六月七日、当クラブの総会を終えることが出来ました。総会終了後、多賀城消防署長石母田正則氏による今話題の住宅火災警報器に関するご講話を頂きました。関心度合いが高かったので熱心に質問とユーモアを交えての講話を聞くことが出来ました。

消火器と同じで悪質業者による訪問販売が行われております。皆様気を付けて下さい。

お近くのクラブ役員に気軽に声をかけて下さい。対応致します。尚総会資料は各地区共回覧とさせて頂きました。必要の方はお届け致します(資料の中に各地区役員の名簿添付してあります)

今後共微力ではありますが皆様の近くで気軽に声をかけて頂きます様に活動して参りたいと思っております。宜しくお願い致します。



明治二人の母を送って

大代南 星 繁子

昨年九月、我が家では五十三年生活を共にした義母を失いました。行年百才と佛事では申しましたが満年齢だと九十九才での大往生でした。明治・大正・昭和・平成と四世代を生き抜いた母は晩年「長生きはしたくないが死ぬのは怖い」といっておりましたが、まるでその怖さから逃れるかのように臨終の半日位前から意識が朦朧となり、恐れていた死の恐怖もなく眠るように旅立ちました。その顔は凛としていて「まるで最期はこのように」と私に語っているかのように見えました。九十才で他界した実家の母もそうでした。菊の花が好きだった母は菊の香る季節に死にたいなどと常々いっておりましたがそれに合わせるかのように十月の菊の季節に他界しました。明治二人の母は臨終の季節まで自分で決め、力つきたのか眠るように美しく旅立った。偶然といえればそれまでだが生き方はそれぞれ違っても強い信念を持って長い人生を送り、最期は自分の望み通りに旅立つ。なんて幸せな二人だろうと思ふ反面、幾多の苦勞を乗り越え生き抜いたからこそ、その美しい終わりがあったのではと！

私もこれからの日々を大切に精一杯生きようと思っている今日此の頃です。

日本の匂い (四十四)

大代南 後藤 清一

全ての査問をクリアし復員手続きを済ませた方は家族と共に即帰郷が許され、待望の我が家へと消えていった。

元気で頑張れよと声を掛けあつてい

る。各々人生の活路を胸に秘め短い別

れの会話を交わしている。思えばシベ

リヤ抑留の四年間は拷問のような歲月

であった。後続の下船、上陸も完了の

ようである。陸では我が子、我が夫を

そんな肉親を血相を変えて探し求めて

いる。幟に大書して我が子の姿を探す

老母、正に岸壁の母である。他方傷病

者、台風の水害で鉄道不通方面の方は

病院、復員宿舎に留まる事になった。

私は当然の事乍ら本日の船で舞鶴に無

事な上陸の一報を入れる。今日本の土

を踏むまで家との交信は全くなく、毎

日が不安を持ち続けなければならなか

った。兎に角今は生きていて、生きて

帰れたそれだけに家族の安否がとても

気になる。今日からは死に脅かされる

事はない。あの三重苦、そしてきつい

ノルマからも解放される。あちらで過

ごした四年間は着替えもなく短い夏の

日、半年ぶりの洗濯も全て着干し、こ

んな生活で虱、南京虫は殖え続け容赦

なく襲ってくる。皮膚の柔らかい毛穴

に頭を突っ込み尻を逆立て喰いつく。

全身黒くなるとポロりと落ちる。安眠

の沙汰ではない。だが作業疲れて皆死

んだように眠る。朝起きて驚く全身掻傷で血が滲んでいる。こんな体からよくもと虱退治、やがて起床の鐘、皆寝不足の連続である。今は全てが清潔で言葉ではとても云い表せない幸せな思いが温かく広がってゆくのを枕にほほをつけ静かに味わっている。

翌日私は担当医の診察で大丈夫だ、今後の処置の指導を受ける。先づは一心と同室の者と将棋を楽しんでいた。

その時、俺の名を呼び面会ですと放送があり、信じ難く面会室に急ぐ。そこには男女の人が掛けていた。彼らは立ち上り無言で俺を見つめる。私は部屋の勘違いと直感し退室する。その時

お前大代かと語りかけてくる。それで義兄と確認できた。こちらは？と彼女に指を差す。馬鹿野郎お前の妹だシベリヤ呆けかどやされる。俺が家を出た時は小学生だった。それが小娘に今更乍ら長い空間に驚く。向こうも俺の

瘦せこけた貧相とズボンの裾、袖口を捲るヨレヨレ満服の刺子姿に驚き直ぐには解りかねたのだろう。遠路の面会

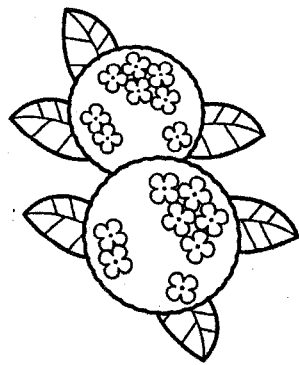
有難う我等涙の再会でした。「みんな変りない？」「元氣だ親は君の音沙汰なしに落ち込んでいたが、この突然の

帰国にまるで放心状態だ」妹は俺の吊した腕と激瘦せに只泣くだけ、心配すんな簡単なリハビリで完治するそうだ。

お前腹空いてるなと持参のおにぎりと小使銭まで貰う。既に文無しだったので嬉しかった。

では親爺も心配で待ってるから帰ろう。家には良く話しておくから。お前も気を付けて早く帰るように。暮れの早い夕日を背に足速に帰っていった。

続く



気を付けましょう

「ひったくり」

大代中區 伊藤

去る五月十三日(土)夜、多賀城市八幡で女性(利府の方)がバックを手持って歩行中、後ろから二人乗りのバイクに「バックをひったくられる」事件が発生しました。

翌十四日(日)早朝「大代地区コミユニティ推進協議会」による、貞山運河周辺の清掃に参加している人達が、捨ててあった免許証を見つけ連絡したところ、事件がわかったものです。

この清掃がなかったら、大代ではこの事件を知らずにいたかもしれせん。最近このような事件や、新しい手口の事件が発生しているようです。

これから夏に向かい、薄着での夜間外出等は性犯罪にもつながります。みんなて気を付けましょう。

ふれあい川柳

大代西 藤田 遊子

黒金を集めて速しホリエ川

盗作に賞を与える文化庁

安倍福田いずれも上げるか消費税

虫歯より姉歯が痛む偽歯かな

靖国に詣でる総理九月尽

先生もセクハラをする神の国

檢察かホリエモンか巖流島

明細なき引越つ越し代は三兆円

端末動かず取り締り失敗す

デジタル年金人を直撃す

ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

生きんとす棚田の闇に水盗む

蝮捕瓶に詰んと指かまれ

斜陽館煤けて暗き桜桃忌

故郷に袋をかけに行こうかな

律にも意地の茂りや最上川

笠神西 本郷 勝子

群青や小袖で包むあやめ草

藤房や蓮獅子の如き風の中

夕景や大パノラマの残雪の山

深閑や春蟬遠く峠越え

ひたすらに夫の好物蒔を摘む

